北海道大学低温科学研究所 2023 年度共同利用研究集会

「海洋乱流の観測およびモデリングに関する研究集会」プログラム（最終版）

日時：12月15日(金) 8:50~18:00

会場：北海道大学低温科学研究所会議室（研究棟 2 階）

午前の部 座長：古市 尚基（水研機構水産技術研）

8:50-9:00	趣旨説明
9:00-9:30	波浪に伴う海水輸送と波と流れの相互作用 ○藤原 泰（神戸大海事科学），松村 義正（東大大気海洋研）
9:30-10:00	台風通過時の海洋混合過程に関する，LES による PWP スキームの検証 ○古川 淳平（京大院理），吉川 裕（京大院理）
10:00-10:30	夏季における Langmuir 乱流の観測の初期解析結果 ○吉川 浩一郎（京大院理），吉川 裕（京大院理），馬場康之（京大防災研），久保 輝広（京大防災研）
10:30-11:00	背景シア流の存在下における内部波の励起 ○大貫 陽平（九大応力研), Antoine Venaille (ENS de Lyon)
11:00-11:30	深海における潮汐起源の Near-field Mixing に関する再考察 ○日比谷 紀之（東京海洋大学／JAMSTEC），田中 祐希（福井県立大学），平野 雄介（気象庁）
11:30-12:00	地形に沿って伝播する superinertial な内部潮汐波 ○田中 祐希（福井県立大学）
	昼食

午後の部 座長：増永 英治（茨城大学）/ 堤 英輔（鹿大水産）

13:30-14:00	Sea surface signature of incoherent semidiurnal internal tides in the Northwest Pacific: Variability and Mechanism ○Shuya Wang (CMES, Ehime Univ.), Xinyu Guo (CMES, Ehime Univ.), Yasumasa Miyazawa (JAMSTEC), Ryo Furue (JAMSTEC), Sergey M. Varlamov (JAMSTEC)
14:00-14:30	深海乱流強度の実測，推定法,可視化技術の開発 ～これからの海洋資源開発時に求められる環境調査技術として～ ○古島 靖夫 (JAMSTEC)，田中 衛 (東京理科大)，Mehul Sangekar (JAMSTEC)，Dhugal Lindsay (JAMSTEC)，福原 達雄 (KANSO テクノス)，長尾 正之 (AIST)

14:30-15:00	MicroALTO フロートによる乱流観測 ○井上 龍一郎 (JAMSTEC), 伊地知 敬 (東大院理), 古島 靖夫 (JAMSTEC), 長井 健容 (東京海洋大学), 堤 英輔 (鹿大水産)
15:00-15:30	小笠原海域で卓越する近慣性流と強乱流パッチの時系列観測 ○伊地知 敬(東大院理), 井上 龍一郎 (JAMSTEC), 古島 靖夫 (JAMSTEC)
	(休憩 15 分)
15:45-16:15	CTD 搭載型高速水温計を用いた乱流観測：乱流強度の分布と鉛直構造について ○佐々木 雄亮 (東大大気海洋研), 安田 一郎 (東大大気海洋研), 勝又 勝郎 (JAMSTEC), 纐纈 慎也 (JAMSTEC), 内田 裕 (JAMSTEC)
16:15-16:45	係留 ADCP による乱流運動エネルギー散逸率の時系列観測 ○遠藤 貴洋 (九大応力研), 付 悦 (九大院総理工), 堤 英輔 (鹿大水産), 井上 龍一郎 (JAMSTEC)
16:45-17:15	黒潮と潮汐流が生じる海山ウェークと乱流混合の観測 堤 英輔 (鹿大水産, 東大大気海洋研), 井上 龍一郎 (JAMSTEC), 長井 健容 (海洋大), 中村 啓彦 (鹿大水産), 仁科 文子 (鹿大水産), 遠藤 貴洋 (九大応力研), 高橋 杏 (東大大気海洋研, APL/UW), Ren-Chieh Lien (APL/UW), Eric Kunze (Northwest Research Associate), 伊藤 幸彦 (東大大気海洋研), 長谷川 大介 (水研機構・資源研)
17:15-18:00	総合討論